

【NEWS RELEASE】

2026年2月20日

各 位

株式会社三井住友銀行

「SMBC の森」のヒノキ間伐材から抽出したヒノキオイルを活用した
フレグランスカード制作について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下「三井住友銀行」）とエステー株式会社（代表執行役社長：上月 洋、以下「エステー」）は、森林保全活動の一環として三井住友銀行が保有する「SMBC の森」（神奈川県伊勢原市）で発生するヒノキ間伐材の枝葉を有効活用し、枝葉から抽出したヒノキオイルを用いたフレグランスカード（※1）を開発しました。間伐の過程で廃棄されることの多い枝葉を「香り」という体験価値に転換し、社外コミュニケーション等に活用することで、資源循環や森林保全への理解促進につなげることを目指します。

本取組は、三井住友銀行が 2024 年 5 月にネイチャーポジティブ・脱炭素社会等の実現に向けて取得した「SMBC の森」における適切な森林管理から生まれる資源と、エステーが有する香りの開発および抽出技術（※2）を掛け合わせることで実現しました。抽出したヒノキオイルをベースにオリジナルの香りを設計し、フレグランスカードとして形にすることで、森林由来資源の新たな活用可能性を示すとともに、循環型社会の実現に向けた一歩と位置付けています。

三井住友銀行は、今後も「SMBC の森」で生まれる間伐材の多様な活用を通じて、国産材の認知向上や森林業の活性化に取り組むとともに、資源循環と森林保全への理解を広げる施策を継続的に検討してまいります。



間伐作業



「SMBM の森」フレグランスカード (※3)

※1：フレグランスカード

香料を含浸・塗布したカードで、手に取ることで香りを楽しめるもの。衣類や名刺などの小物に香りを移したりすることが可能です。

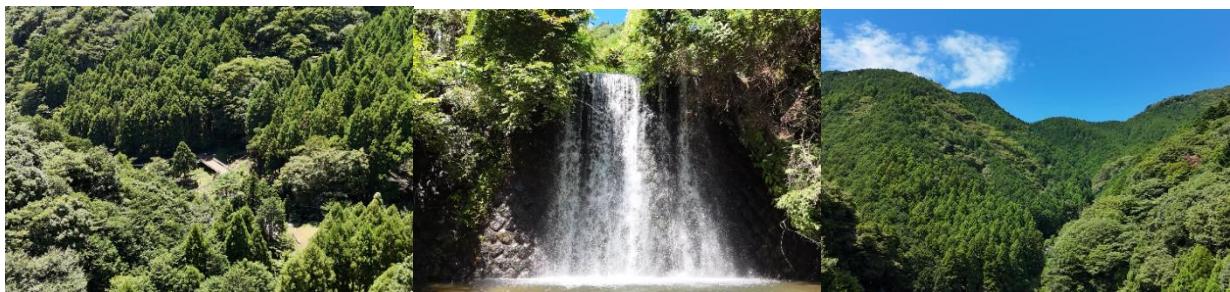
※2：ヒノキオイルの抽出

エステー特許技術の、減圧マイクロ波水蒸気蒸留装置（VMSD）を用いて、ヒノキ間伐材からヒノキオイルおよびヒノキウォーターを抽出しました。VMSD は、従来の水蒸気蒸留法（SD）と比べてエネルギー使用量の低減が期待でき、これにより CO₂ 排出量の抑制に寄与し、環境負荷の低減につながります。

※3:創香・製作においては、エステー100%子会社の株式会社コードミーの技術を活用しています。

「SMBM の森」について

2024 年 5 月に取得した神奈川県伊勢原市日向地区の森林（約 220ha）です。この森林の保全や再生を通じ、社会課題である地球温暖化防止や生物多様性の維持等に取り組んでいます。具体的には、①植生調査を基にした生物多様性の維持、②森林由来のクレジットの創出、③環境教育サイトの設置と環境プログラムの実施、④バイオマス発電や間伐材等を活用した森林業の活性化、等に取り組んでいます。



[2024年4月1日プレスリリース：伊勢原市日向地区の森林取得とその活用について](#)

以上